

カジノ・夢洲開発は中止を

大阪市議会 井上議員が討論



大阪市議会本会議が14日開かれ、日本共産党的井上浩議員は2024年度一般会計等決算と公営・準公営企業会計の決算の認定に反対する討論をしました。各

決算は共産党以外の賛成多数で認定されました。

井上氏は、物価高騰のなか賃金が大きく上がらないもとで、物価高対策とくらしの応援、公共の役割を後景に追いやりながら、万博やその後のカジノ誘致など夢洲での巨大開発を前のめりで推し進めてきた「本決算は到底容認できない」と批判しました。

閉幕した万博について、

反対討論に立つ井上議員 14日、大阪市議会

実際の運営費収支だけでなく、会場建設費2350億円をはじめ巨額の事業費がかかったことを考慮した総合的な検証が必要だと強調。「成功した」と樂観視できる状況にはないと指摘し「市民生活や財政を圧迫するカジノとそのための無謀な夢洲開発はきつぱり中止すべき」だと求めました。

高すぎる国保料・介護保険料への市独自の軽減策に否定的な市の姿勢をたたかし、「一般財源の投入をはじめあらゆる知恵と力を尽くして市民負担の軽減に努めるべき」だと訴えました。